

平成30年 広尾町高校生議会 2/8開催

2年ぶり2回目の開催となった「高校生議会」。今回は高校生がまちづくりについて提案したテーマに基づき、議員、町職員が議論を交わす「まちづくり会議」形式とし、町職員も自分の担当分野に限らず、意見を述べることにしました。

参加した高校生生徒会役員9人は、開始当初は慣れない議場の雰囲気になかなか発言できない場面も見られましたが、会議が進むにつれて自分の意見を堂々と述べていました。

※ここでは、当日出た意見を抜粋、要約して掲載しています。

当日の録画中継を広尾町のホームページから見るができます。

トップページ →  をクリック!

No.	内 容	ページ
1	広尾町の観光産業のあり方について ①インスタ映えする場所をつくっては ②サンタメール事業の今後の見通しは	1
2	広尾町の将来について ①新たな飲食店開店でまちに活気を ②新たな広尾の名産品づくりを	2
3	広尾町のインフラ整備について ①高校生が楽しめる場所があれば ②冬の通学路安全確保を	2～3
4	広尾町の情報発信について ①ふるさと納税にサンタランド関連の取り組みを ②日本ハムファイターズ応援大使をどう活用するか ③広尾町の宣伝動画を作成しては	3

「テーマ1」①インスタ映え^{*}する場所をつくっては

飯田さん 「インスタ映え」する場所をつくれないか。サンタランドをうまく活用すればよいと思う。

西脇課長 有名人にアピールしてもらえればよいが、ハードルが高い。何か具体的なアイデアは。

飯田さん バレンタインにイルミネーションを点灯してはどうか。集客効果はあると思う。

前崎議員 町外からの目線で見ると、サンタランドのイルミネーションやフンベの滝がインスタ映えするのではないか。

松田参事 夜の港の積み下ろし風景も非常にきれい。フンベの滝も夜にライトアップすれば、よいスポットになるのではないか。高校生の皆さんがよいスポットを見つけて、発信していただければ。

おだ議員 バレンタインはサンタランドのイメージとマッチする。うまく活用すべき。

田中副町長 恋人の聖地にも認定されており、バレンタインはすごくよい発想だと思う。

「テーマ1」②サンタメール事業の今後の見通しは

村林さん 生徒会がプロジェクトに参加していることもあり、サンタメールの運営状況、サンタランド事業の今後の方向性が気になる。

雄谷課長 サンタメールは、郵便、ネットでの申込みが減少しており、ここ数年は採算ラインを下回っている。大学生と高校生によるプロジェクトで現状を分析し、新たなアイデアを提案してもらおう。

志村議員 採算が取れないからといって事業をやめることにはならない。まちづくりの核とするなら、公共性をより強く持たせるべき。イルミネーションも現状のままでは他の町村に負けてしまうのでは。

雄谷課長 サンタメールは継続していく。イルミネーションも工夫しながら充実させていきたい。

村瀬町長 サンタランド事業は30年以上続いている町の観光資源。それをメインにどうやって他の地域から人を呼び込むかが重要と考えている。

※インスタ映え

インターネット上で写真を共有できるサービス「Instagram（インスタグラム）」に写真を公開した際に、ひときわ映える、見栄えがよい、という意味で使われる表現



「テーマ2」①新たな飲食店開店でまちに活気を

加藤くん 閉店する飲食店がある一方で、新規の開店はほとんどない。まちに活気がなくなってきたと感じるが、打開策は。大手ファミレスチェーン店の誘致や、気軽に利用できるおしゃれな喫茶店などがあればよいと思う。

小川課長 起業家支援のための補助金制度を活用した新規起業が10件あったが、飲食店は少ない。チェーン店の支店には、この制度は適用されない。

志村議員 開業資金の貸し付けだけでは、新規に開店したいという人は出てこないのでは。企業を誘致し、人口減少に歯止めをかけることが必要。

小川課長 町でも企業誘致や人口増に向けての施策を行っているが、なかなか成果が出ない。

北藤議員 森林公園に軽食を出す店をつくってはどうかと提案したことがある。サンタランドを盛り上げるためにも必要だと思う。

山崎くん 年末に友達と行く飲食店が毎年同じになったり、混んでいて予約が難しいという状況にある。飲食店が増えれば、選択肢も増えてうれしい。

「テーマ2」②新たな広尾の名産品づくりを

山崎くん 広尾町といえばこれ！というインパクトのあるお土産がほとんどない。毛がに以外の名産品をつくれなにか。

「テーマ3」①高校生が楽しめる場所があれば

香田くん 町内に高校生などの若者が楽しめる場所をつくれなにか。ラウンドワンなどのレクリエーション施設があったらうれしい。

山岸課長 青少年会館にインストラクターを呼んで、新たなトレーニングマシンを設置する構想もある。

糸井くん 遊ぶ場所がないから町外へ出てしまう人も多い。仲間と集う場所が大切。るるの2階空きスペースで喫茶店などできないか。前向きな検討をお願いしたい。



平課長 広尾は海、山に豊かな恵みがあるが、地元の人には気づきにくい。鹿肉などのジビエは知っているか。知名度がアップするような取り組みを、今までとは違った視点で重点的に行っていきたい。

山崎くん ジビエやししゃもをもっと大きく宣伝することはできないのか。

渡辺議員 発信しなければ名産品にはなりえない。道の駅があれば、そこを発信元にする。地元の物産をどう名産品に育てていくかが大事。

山崎くん 道の駅に行けば、広尾の特産品が売っているという印象がつくのでよいと思う。

村瀬町長 道の駅は観光スポットにもなるし、情報発信元にもなる。ただ、運営を全部役場任せになるようではうまくいかない。思いを持っている人が集まって「自分たちの責任でやろう」という声があればできるのではないかと期待している。



おだ議員 るるの2階は町内会の会議などには貸しているが、特に町民に周知していない。高校生で特に具体的な案があれば、協力はしたい。

保志課長 Wi-Fi整備やコミュニティスペースを設置して、多くの町民の楽しめる場として利用してもらえよう、図書館を充実させるのも一つの方法だと考えている。

糸井くん 高校でもアンケートをまとめて、要望を出していけるようにしたい。

浜野議員 施設ありきという発想ではなく、何もなくて工夫して遊ぶという考えもありでは。

田中副町長 町を活性化させるにはどうしたらよいか、高校生の皆さんも一緒に考えてほしい。自分たちのできることから始めることも大事。

「テーマ3」②冬の通学路安全確保を

花久くん 近年、広尾でも降雪量が非常に多い。通学路の除雪を充実させ、安全確保をしてもらいたい。

小川課長 町内では全部で25キロの歩道をロータリー除雪車を使って除雪している。具体的にどこをどうしてほしいという提案はあるか。

花久くん 完全に通れない歩道もある。1人くらいは歩ける幅の除雪を全ての歩道でもらえれば。

小川課長 きれいになった道に雪を出す人がいる。歩道がふさがっているのは、そういうことも原因の一つかもしれない。

萬亀山議員 屋根からの雪がせり出して危険だと思う場所もあるので、気をつけてもらいたい。

糸井くん 通学路の除雪が全く入っていないくて、車道を小学生が歩いているのを見たことがある。車道も狭く、危険な状況だった。



小川課長 通学時間に間に合うように除雪はしているが、大雪時は追いつかないこともある。

「テーマ4」①ふるさと納税にサンタランド関連の取り組みを

阿部くん 満足度の高いふるさと納税にするために、サンタランドを関連づけるとよいと考えるが。

長田課長 ツリー点灯式への招待やイルミネーションセットを返礼品に加えることが考えられる。

渡辺議員 品物としての返礼品は、サンタランドになじまないものが多い。サンタウェディングなどの返礼品が考えられるのでは。

保志課長 チーズや木彫り、サンタキャンドルなどサンタランドと関連づけた返礼品も用意している。サンタメールも申込者に送付している。



山崎くん 広尾の特産品を贈ってみてはどうか。

白石課長 ヒーロー賞として球団に広尾の特産物を提供し、PRに活用したいと考えている。

飯田さん 町民からの応援メッセージビデオを送ったりしてはどうか。



「テーマ4」②日本ハムファイターズ応援大使をどう活用するか

高松さん 応援大使に小・中学校に訪問してもらって交流を図るとよいと考えるが。

森谷課長 同感だ。プロ選手との交流はなかなか経験できることではない。応援大使のトークショーや町民とのふれあい交流もできればよいと思う。

高松さん 点灯式に参加してもらえればうれしい。

道会計管理者 応援大使は1年間町の行事等に協力してくれるので、今の提案は検討したい。

高松さん 応援大使の周知が足りないと思う。

長田課長 町広報にファイターズコーナーをつくって、町民に周知していきたい。

浜頭議員 私たちが応援大使の白村選手、谷口選手をがんばって応援することが必要。

「テーマ4」③広尾町の宣伝動画を作成しては

糸井くん 3年周期くらいで町の宣伝動画を作成したらよいのではないが、「インスタ映え」の要素を入れるとよいと思う。

松田参事 動画は見てもらえなければ意味がない。まず何のために動画をつくるのか、目的をはっきりさせる必要がある。

糸井くん 動画作成に挑戦することが、町民の心の起爆剤となり、まちづくりに対する意識が変わってくるのではないかと考えている。町民全員で挑戦することに非常に意味がある。

志村議員 動画作成は賛成だ。広尾町にはよい素材がたくさんある。せっかく提案があったのだから、検討してもよいと思うが。

齊藤課長 高校生が主体となって動画を作成し、町ホームページで配信するというのも一つの方法ではないか。

村瀬町長 広尾町もたくさんの情報を発信しているが、まだまだ不十分。もっと町のよいところを発信しながら、まちづくりをしていきたい。

高校生議会を終えて

今回参加していただいた広尾高校生徒会役員
9人に感想を聞きました。

※学年は、高校生議会開催当時のものです。

会長 いと い りゅうせい 糸井 瑠星さん（2年）

初めは議場の雰囲気になじめず緊張してしまいましたが、質問や発言をする度にその緊張も解けていき、リラックスした状態で議会に参加することができました。広尾町について考えることができたよい経験となりました。

副会長 やまざき きょうすけ 山崎 恭輔さん（2年）

私は初めて議場の中に入りました。そして町長や町議会の方々に注目されて自分の意見を発言するなんて一生にあるかないかの経験はとても緊張しました。なかなかうまく話したりすることができませんでしたが、とても楽しかったです。

副会長 たかまつ きょうか 高松 香花さん（2年）

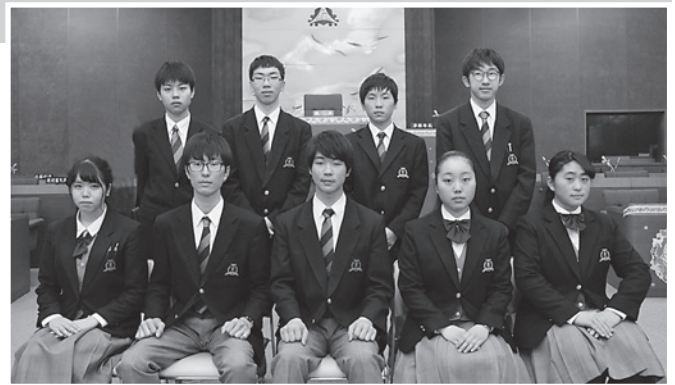
議会が進行し、議員の方や役場の方の話を聞いて、自分でも発言したいことがあったのですが、緊張してしまい手を挙げるすることができませんでした。事前にもっとしっかりと自分の意見を固めておくべきだったと思いました。

書記次長 むらばやし ゆいな 村林 結菜さん（2年）

学校代表として、貴重な体験をさせていただきました。緊張して、なかなか意見を言うことができなかったのですが、あの場に立ってみて、議会はあのように行われているのだと身をもって体験することができました。

会計長 こうだ ゆうろ 香田 脩呂さん（2年）

町議会を通して自分の意見を発言することができ、本当に貴重な体験になりました。大勢の場での発言はとても緊張しましたが、町長をはじめとする町職員、議員の皆様方の熱い答弁を聞き、いろいろなことを学ぶことができました。



前列左から 飯田さん、山崎さん、糸井さん、高松さん、村林さん
後列左から 阿部さん、加藤さん、花久さん、香田さん

会計次長 あべ れい 阿部 零さん（1年）

いつも生徒会が行う定例会議と違い、もっと厳かであり深く深い内容で、ついていくのがやっとでした。実際に参加してみると緊張で言葉が出ず、町長や議員の方々の話を聞くだけでしたが、その分多くの学びを得ました。

厚生常任委員長 かとう まなと 加藤 愛大さん（2年）

今回の高校生議会ですべてのいろいろなことを知り、学ぶことができました。僕の担当した「飲食店の減少問題」の現状と対策など、広尾町の活性化に関わってよかったです。緊張して発言ができなかったので、今後もっと広尾町の対策に関わっていきたいと思います。

体育常任委員長 はなひさ あらし 花久 嵐さん（1年）

自分にとって本当に貴重な経験でした。緊張して、周りの方の意見を正確に聞き取って自分の考えを伝えることができませんでした。これからどのようなことをしていくのか、今の現状はどのようなかなど、広尾町の現状を知ることができてよかったです。

文化常任委員長 いいたさやか 飯田沙也茄さん（2年）

今回、高校生議会に参加させていただき、本当によい経験になりました。よくわからないことが多くてとまどいでしたが、自分なりに疑問に思ったことを質問したり、意見を言えたりすることができたので、よかったです。